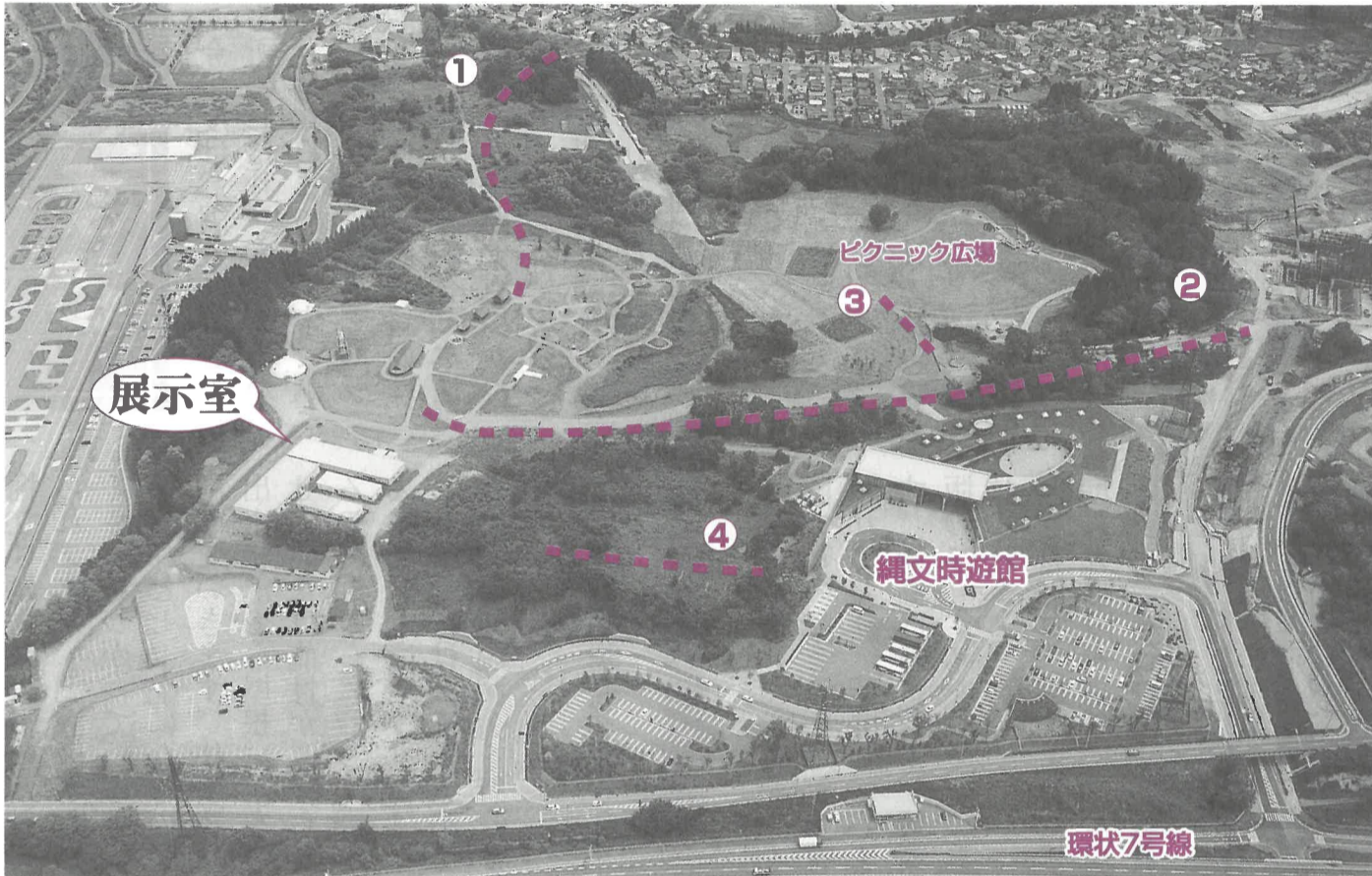
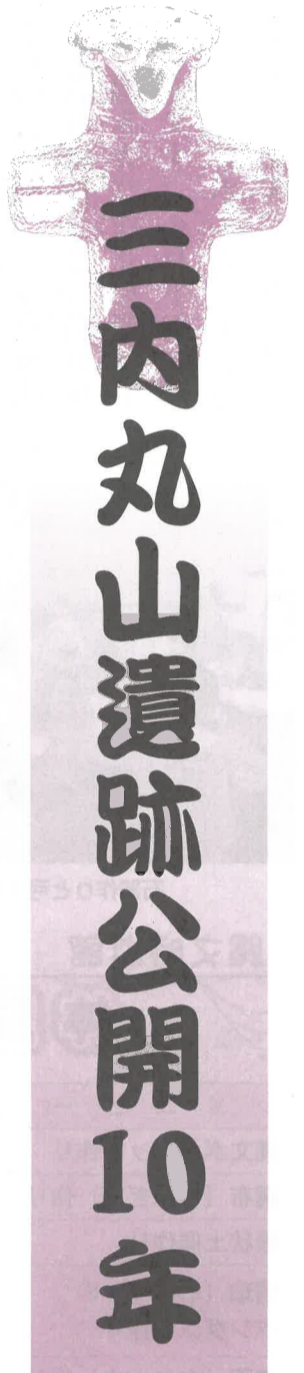


三内丸山通信



国の特別史跡に指定され、縄文の丘・三内まほろばパークとして整備されてきた三内丸山遺跡。今も整備や情報発信は続いています。そして、これからも。



まほろば

パークNOW

遺跡へは、2002年に開館した「縄文時遊館」の中の「時遊トンネル」を通じて入るようになっていす。トンネル出口からは、三内丸山応援隊による定時ガイドが出ています。そのガイドでは、大型掘立柱建物・大型住居などの復元建物や、発掘した状態のまま覆いをかけた展示遺構などを約1時間かけて見学します。これらの南側は縄文時代の地形が復元され、ピクニック広場として楽しめる場になっています。遺跡内にある展示室では、土器や石器、動物の骨で作られた針などの道具類、土偶・ヒスイ製の首飾り、食ベカスとして捨てられた魚の骨まで、多種多様な出土遺物を見ることが出来ます。常設展のほか、企画展コーナーでは年3回、テーマを新たにしてお待ちしています。

H7~16 10年間の発掘調査から①

集落の全体像や移り変わりを調べるために毎年発掘調査を行ってきました。3回に分けて、その成果をご紹介します。

調査を重ねるにつれ、三内丸山びとが計画的に道や墓をつくっていたことがわかってきました。

墓列の間は道路

平成6年度までに、2列に並ぶ大人の墓2ヶ所が発見されてきました。その後の調査で、墓の列の間が、幅10m以上の道路であることがわかりました。それも、高い方を削って、低い方に粘土を貼り付けるという大がかりな道路工事を行っている場所もあります。現在、写真に示した4カ所が確認されています。

並ぶ墓

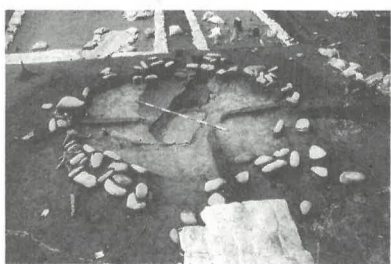
列状の墓は、写真の①④の道路の両側または片側に沿って多数つくられていることがわかりました。楕円形の穴を掘り、道路を向くように埋葬し、土を盛ったものがほとんどです。他に、壁を板で囲ったものや、川原石を穴の周りに円く並べたもの（環状配石墓）、また、土盛りの上に大きな石を立てたと考えられるものもあります。

① 東の道（長さ420m）
② 南西の道（長さ370m）
③ 南の道（長さ45m）
④ 西端の道（長さ80m）
東の道と南西の道は、集落の中心部から外へ向かっています。南の道は、南西の道から分かれて、谷の方へ延びているようです。西端の道は遺跡の中で最も高い台地上の平坦地に沿って延びています。

環状配石墓は①・③の道沿いにも所々にみられますが、②の道の南東側（時遊トンネル出口付近）では、列状に並んでいます。石の並べ方は、これより後の時代（縄文時代後期）の小牧野遺跡の並べ方と共通するものです。



南西の道 右側には環状配石墓が並ぶ



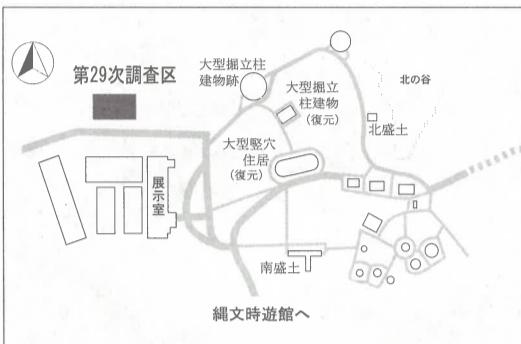
環状配石墓 よく見ると、石がタテとヨコに組み合わされている



発掘調査はじまる



今年度は、調査区域を1カ所にしぼり、6月9日から9月30日までの予定で調査します（第29次調査）。調査区は遺跡北西の斜面にあり、昨年度の調査で木柱や焼けた住居跡が見つかった場所です。重要性が高く、今年度も引き続き調査することになりました。木柱は



今年度の調査区位置

今年も縄文教室が始まりました。6月11日には「土器作り1」が行われ、遺跡で出土した土器と同じ粘土をこねる作業や、模様をつける縄作りを行いました。参加者は「縄文人の苦労や工夫がわかり、楽しかった」と話していました。今後土器の形を作り、野焼きをして完成する予定です。また、6月18日の「三内丸山遺跡探検」では、講師に東京大学の上誠一郎氏を迎え、遺跡内の植物を観察し、人間と植物の関わりについて考えました。

大人気

縄文教室

縄文教室予告

春・夏の縄文教室は既に定員に達しましたが、秋・冬にも縄文教室を企画しています。10月以降は石器作りと弓矢体験、レプリカ作り、釣り針作りと魚釣り体験、編みカゴ作りを開催する予定です。8月下旬ころにチラシやホームページでご案内します。お楽しみに。



石器作りと弓矢体験（昨年度）

掘立柱建物跡のものと考えられますが、調査区からたくさん見つかった柱穴のどれとセットになるのか調べていきます。住居跡は出土状況から屋根に土をのせていた可能性が考えられるので、さらに詳しく調べることになっています。なお、9月下旬には調査成果をまとめ、現地説明会を行う予定です。

毎週開催

ミニ現地説明会

発掘調査は土・日曜日や雨などの日を除いて毎日行われており、公開しています。調査区前には常に最新版のニュースレターを設置しています。6月30日（木）からは、毎週火曜・木曜日にミニ現地説明会を行います。職員

縄文時遊館

体験工房

メニュー	所要時間	料金
縄文ポシェット作り	2時間	320円
編布（あんぎん）作り	2時間	530円
板状土偶作り	2時間	530円
琥珀（こはく）のペンダント作り	1時間	1,050円
勾玉（まがたま）作り	1時間	320円
ミニ土偶作り	1時間	320円
組みひも作りと火おこし	1時間	210円

※常時簡単な体験メニューをご用意しています。

●お問い合わせ先
縄文時遊館内 三内丸山応援隊
TEL: 017-766-8282
FAX: 017-766-2365

企画展

モデルも作者も縄文人

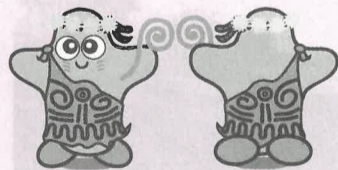
—顔とカラダの縄文遺物—

■期間：6月24日（金）～9月29日（木）
■場所：遺跡展示室内 企画展示コーナー

人体が表現された出土品を使い、縄文人の外見について考えてみる展示です。土偶を中心に、爪跡・指紋の残った土器や、他の遺跡の人骨研究をもとに作られた、実物大の縄文人像も展示します。

人骨でわかる外見と土偶に表れた外見は違っていることも展示物でわかります。

本人と他人で見え方が違うのは、今も4・5千年前も変わらないようです。



遺跡のご案内

遺跡の開園時間

9時～19時（4月～10月）
ただし、「遺跡内展示室」「展示遺構」の公開時間は9時～18時（4月～10月）です。

定時ガイド説明

1回目は9時15分から
その後は10時から1時間毎
最終は16時から
（7月23日～8月14日は9時30分からは30分毎）
団体ガイドのお申し込み
縄文時遊館内
三内丸山応援隊まで
017-766-8282

交通手段

青森市営バス
JR青森駅から約30分
青森駅前2番バス停から「免許センター行き」三内丸山遺跡前で下車。
※詳しくは、公式HPをご覧ください。